

通貨・金融,証券,保険

に関する17年間の雑誌文献目録

昭和23年 — 昭和39年

I 貨幣・通貨, 金融



編集・出版 日外アソシエーツ

通貨・金融,証券,保険

に関する17年間の雑誌文献目録

昭和23年 — 昭和39年

I 貨幣・通貨, 金融



編集・出版 日外アソシエーツ

通貨・金融, 証券, 保険に関する雑誌文献目録 昭和23年～昭和39年
I 貨幣・通貨, 金融

昭和57年4月10日 第1版第1刷発行©

定価 7,000円

編 者 「雑誌文献目録」編集部

発行人 大高利夫

〔不許複製〕
〔禁無断転載〕

発行所 日外アソシエーツ株式会社

〒143 東京都大田区大森北1-23-8 第3下川ビル
振替 東京0-47971 電話 03(763)5241(代)

印刷・奥村印刷株式会社／製本・松栄堂製本所

乱丁・落丁本はお取替えいたします。

Printed in Japan

ISBN4-8169-0125-6

凡 例

I 本書の編成

本書は、弊社編 国立国会図書館監修「雑誌記事索引（人文・社会編）累積索引版」の第Ⅲ期および第Ⅳ期をもとに、通貨・金融、証券、保険に関する文献目録として使い易いよう再編成したもので、昭和23～39年（1948～1964年）の17年間に発表された通貨・金融、証券、保険に関する雑誌文献約10,000件を収録している。主題別の文献目録のほか、巻末に事項索引（主題および人名）と収録誌名一覧を付してある。

II 文献目録

1. 見出し語と分類

主題別の大項目を設け、その下をキーワード方式による見出し語（件名）を用いて細分してあるが、出来るだけ体系的な構成を考慮した。(17年間の文献を通覧し易いよう「雑誌記事索引累積版」の分類および見出しも修正し、編成しなおしてある) 記事の分類に際し2つ以上の主題にわたるものは必要に応じて重出・分出をしているが、必ずしも十分ではないので関連の主題項目にも留意してほしい。

2. 記載の形式

著者名、論題、所載雑誌名、巻号、発行年月、ページの順（但し一部分省略されているものもある）。著者が複数の場合、原則として全員記載してあるが、先頭1名のみを挙げ、「他」と付記したものもある。

例

川北禎一 9 原則の具体化と通貨金融政策：実業之日本 52(4)〔49.2〕p 2～3

3. 記事の排列

各項目の中の記事の排列は、著者名のあるものは個人著者・団体著者に分けてその読みの五十音順とし（姓の五十音順、次いで名の五十音順）、論題から記入されたものは著者から記入されたものの次に論題の五十音順としてある。同一著者のもとでは刊行年月順。五十音の読みは、濁音・半濁音は無視し、ヂ→シ、ヅ→ス、ヴ→ウとした。拗音・促音は（小文字で記してあっても）そのまま1字に読み、長音・重母音は表記法の如何にかかわらずそのまま発音通りに母音を重ねて読んでもある。

III 事項索引

事項名（主題および人名）の排列は読みの五十音順による語順とし、掲載ページのほか見出し語およびその補足語を指示してある。(事項名がそのまま本文中の見出し語である場合はページのみを指示)。読みは上述のⅡ文献目録の第3項を参照してほしい。

例

通貨	6
— (インフレーション)	4
通貨安定政策 → 通貨政策・貨幣制度	24
通貨改革	30
→ 中国 (通貨政策・貨幣制度)	29
通貨史	10
通貨処理	30
通貨政策	24
通貨量	12
通貨理論	15
— (各思想家の)	18

IV 収録誌名一覧

排列は誌名の五十音順とし、誌名が欧文のものもその読みの五十音の位置に排列してある。又、誌名が「紀要」、「研究紀要」、「論集」など固有名として区分しにくいものは、その編集（又は発行）団体・機関名のもとに記載してある。

目 次

凡 例	i
-----------	---

文献目録

通貨・金融	1
通貨・金融一般	1
(人物評伝・追悼)	1
池田成彬	2
一万田尚登	3
小林中	4
シャハト, H.	4
ドッジ, J. M.	4
永田清	4
インフレーション	4
貨幣・通貨 (国際通貨を除く)	6
(海外)	8
中国	10
貨幣史・通貨史	10
(海外)	11
貨幣流通・通貨量	12
不換銀行券流通	15
貨幣理論・通貨理論	15
(各思想家の貨幣論・通貨論)	18
貨幣価値・価値尺度	21
貨幣数量説	22
銀行券	23
蓄蔵貨幣・退蔵貨幣	24
通貨政策・貨幣制度	24
(海外)	27
中国	29
(通貨改革)	30
(通貨処理)	30
管理通貨制度	32
発券制度	33
平価切下げ・デノミネーション	33
(海外)	34
金融 (国際金融を除く)	35
(海外)	42
アメリカ合衆国	43
イギリス	45
インド	46
中国	46
西ドイツ	46
(回顧・展望)	47
(金融難)	51
(経済成長・経済変動と金融・金融政策)	53

(自由化と金融・金融政策)	54
(地方金融事情)	55
企業金融・企業間信用	56
産業金融	58
個別産業金融	61
金融機関	61
(海外)	63
アメリカ合衆国	65
イギリス	68
中国	69
西ドイツ	70
銀行	70
(個別銀行)	74
外国為替銀行	76
地方銀行	77
銀行経営・銀行実務	77
(銀行業績)	82
銀行員・労働問題	85
銀行会計	88
銀行取引	90
銀行流動性	91
事務管理・事務合理化	91
P R・広告	93
金融仲介機関	93
公庫	94
公営企業金融公庫	94
国民金融公庫	94
住宅金融公庫	95
農林漁業金融公庫	95
質屋・貸金業	96
中央銀行	98
(海外)	98
日本銀行	100
中小企業金融機関	102
商工組合中央金庫	103
信用金庫	104
相互銀行	106
中小企業金融公庫	108
無尽	109
長期金融機関	109
日本開発銀行	110
復興金融公庫	111
金融構造・金融機構	113
金融資本	114
マネーフロー	115
金融史	116
(海外)	117
アメリカ合衆国	118
イギリス	119

銀行史	120
地方銀行史・国立銀行史	121
信託史・信託業史	122
金融市場	123
資金需給	125
金融政策	127
(海外)	135
アメリカ合衆国	136
イギリス	138
西ドイツ	140
(金融政策転換)	141
(金融正常化)	142
(財政と金融)	143
政府資金	146
(中央銀行と金融政策)	147
オーバーローン	148
オーバーローンの解消・克服	150
金融緩和・緩慢化	151
金融機関行政・政策	152
金融引締め	153
公開市場政策	156
準備預金制度・支払準備制度	157
(海外)	158
金融制度	159
(海外)	161
アメリカ合衆国	162
イギリス	162
中国	163
西ドイツ	164
金融制度改革・再編成	164
金融法規・法令	165
銀行法	167
信用制度	168
金融犯罪・不正金融	169
金融理論	170
(各思想家の金融理論)	171
信用論	172
信用創造	173
金利・利子	173
(海外)	176
アメリカ合衆国	177
イギリス	178
西ドイツ	179
(金利動向)	179
金利低下	180
金利政策	181
金利引下げ・低金利政策	182
金利体系・金利水準	185
金利法制	186

公定歩合	187
利子理論	188
流動性選好	189
証券金融	190
消費者金融・消費者信用	191
(海外)	192
庶民金融	193
信託・信託業	194
(海外)	195
貸付信託	196
信託業・信託銀行	196
中小企業金融	197
(海外)	198
見返資金融資・開銀融資	198
手形・小切手	199
(海外)	202
農業手形	203
不渡手形・不良手形	203
内国為替	206
農林漁業金融	207
(海外)	213
農協系統金融	213
不動産金融・住宅金融	216
預金・貯蓄	217
(海外)	220
(貯蓄)	221
農家貯蓄	224
預金增強・貯蓄運動	224
拘束預金・紛飾預金	226
郵便貯金	226
預金者保護	227
労働金庫	227
(海外)	229
労働金庫法	229
(書評・書誌) (通貨・金融)	229
書評	229
金融	231
書誌	234
事項索引	235
収録誌名一覧	I

通貨・金融

通貨・金融一般

〈昭和23年～29年〉

- 愛知揆一 年末にかけての通貨金融の見透し：実業之日本 52(20) p30～32
入江徹雄 年末通貨金融の見透し：経済安定資料 14 p16～18
川北禎一 9原則の具体化と通貨金融政策：実業之日本 52(4)〔'49.2〕 p2～3
佐藤良輔 インフレ進展下の通貨金融情勢の実情：エコノミスト 26(30)〔'48.11〕 p6～9
酒井俊彦 通貨金融の現状と見透し：財政経済弘報 223 p1～4
三輪悌三 戦後の通貨・預金動向：金融経済 20 p11～25
三輪悌三 戦後の通貨・預金動向の再検討—1—：金融経済 21 p11～28
三輪悌三 戦後の通貨・預金動向—1—：金融経済 23 p15～37
一般通貨金融情報：金融情報
昭和23年9月～10月 3〔'48.11〕 p1～10
昭和23年11月中 5〔'48.12〕 p1～8
金融の季節的変動と通貨の伸縮性：富士銀行調査時報 32 p4～10
年度末の通貨金融情勢——1に目録中心の統制にかゝる：エコノミスト 27(6)〔'49.2〕 p19～20
預金通貨の近状：〔大和銀行〕経済調査 79 p4～9
1953年の銀市場概観：大蔵省調査月報 43(3) p72～79

〈昭和30年～39年〉

- 沖縄経済の展望——通貨と貿易の現状を中心に：調査月報（内閣調査室） 5（5）
景気動向と企業の現金預金勘定の動き：調査月報（日銀） 10（3）
経済の流動性について：経済調査（大和銀行） 144
最近における通貨および金融情勢推移——昭和36年度の回顧：調査月報（日本銀行） 13（5）
フランチピック著「ブラックマーケット年鑑」（1955年）—1～3—（赤松清隆訳）：〔伊藤忠〕調査時報 68～70
預金通貨の動向について：調査月報（日銀） 11（2）

（人物評伝・追悼）

〈昭和23年～29年〉

- 浅原六朗 森脇将光論——高利貸から出版界へ：毎日情報 6(4) p92～96
有竹修二 銀行家点描：財政経済弘報
—1—三菱イズムの正道型——千代田銀行・千金良宗太郎 264 p11
—3—すばしこい銀行マン——帝国銀行・佐藤喜一郎 266 p11
—4—ヒューマニターに期待——迫静二 267 p10
—5—三国一の入婿殿——川北禎一 268 p7
—7—野心なき長老——河上弘一 270 p11
—8—安泰な三代目と名探題——鈴木享市・古閑周蔵 271 p12
—9—渋沢・佐々木の衣鉢をつぐ酒井杏之助 272 p12
—10—湯河元威——湯河、江沢のコンビ・農林中央金庫 274 p12
—11—均整のとれた銀行家——三和銀行・渡辺忠雄 275 p12
—12—特異の風格——小田切武林 276 p10

- 13- 佐賀人気風——勸業銀行・山田義見 277 p10
 -15- 「愛されよ」と訓える——大阪銀行・鈴木剛 280 p10~11
 -16- 浜口雄彦 281 p7
 -17- 銀行も頭取も若い——大和銀行・寺尾威夫 282 p12
 岩崎 博 W. R. バージェス博士のこと：バンキング 59 p81~84
 小村八郎 津島寿一・外債処理に振う腕：東洋経済新報(別冊) 10['52. 9] p75~77
 重井与吉 日本金融界の恩人・アラン・シャンドの一生：バンキング 63 p83~91
 清水宗兵衛 荷見と湯河：経営実務 7(8)['52. 7] p74~79
 末弘春樹 貯蓄銀行王牧野元次郎——銀行家列伝：バンキング 57['52. 12] p200~213
 鈴木富起人 加藤武男をとりまく人々：実業之日本 56(24) p83~85
 高垣寅次郎 時代と学問——ハートリイ・ウイザース逝く：東洋経済新報 2457 p58~59
 高梨光司 借金王石井定七：実業之世界 50(4) p86~89
 梶井義雄 日本銀行豪傑伝：経済新潮 1(5) p104~108
 永井和雄 森脇将光といふ男：人物往来 3(4) p15~19
 西川孝治郎 アレキサンダー・アラン・シャンド：月刊簿記 2(4) p2~3
 日笠有二 早川千吉郎と池田成彬——1, 2——：東洋経済新報 2354 p131~132, 2455 p69~70
 真島清宏 原邦道：東洋経済新報(別冊) 10['52. 9] p54~55
 三鬼陽之助 三菱再建のお目付役・加藤武男：東洋経済新報(別冊) 12['52. 12] p106~110
 孟 遜仙 一風変わった貨殖家の面影[木村権右衛門]：バンキング 41 p158~165
 八楠三郎 岡野清豪——経済人・時の人：経済新潮 1(7) p49~51
 矢須 元 千金良宗三郎論：金融界 2(2) p35~37
 山口 勇 世界最大の銀行を築いた人——デアニニの歩いた道：バンキング 51['52. 6] p178~188
 横田 新 国際金融の覇者・クロイゲルの自殺：バンキング 68 p235~243
 横田 新 北浜銀行と岩下清周：バンキング 71 p281~290
 与謝野 秀 ロスチャイルドの挿話：新 潮 47(7) p17~31
 吉村 侃 骨のずいまでの銀行家マルセル・ヴァン・ゼーランド：エコノミスト 29(30) p21
 伊集院虎一——東京銀行副頭取：金融界 5(5) p66~67
 林賢材——三井信託銀行社長：金融界 5(6) p68~69
 原邦道——日本長期信用銀行頭取：金融界 5(8) p60~61
 村瀬直養——商工組合中央金庫理事長：金融界 5(7) p60~61

<昭和30年~39年>

- 朝比奈 元 佐藤喜一郎論：産業と経済 9(9)
 片岡一久 健在なり宝くじ部長：中央公論 79(6)
 加藤俊彦 三井銀行と中上彦次郎：金融経済 60
 高垣寅次郎 大隈重信と維新後の銀行制度：大隈研究 6
 出井盛之 故ヤーコブソンの業績：世界経済評論 7(7)
 ポタ, G. アフタリョン教授を悼みその業績を偲ぶ：バンキング 111
 矢尾次郎 田中金司先生の学問：国民経済雑誌 96(5)
 矢尾次郎 田中金司先生の学問：バンキング 121
 吉田震太郎他 研究生生活の回顧——中村重夫教授に聞く(座談会)：経済学(東北大) 70・71
 新木栄吉：金融界 7(1)

池田成彬

<昭和23年~29年>

- 有竹修二 池田成彬小観：財政経済弘報 240 p12
 池田 潔 実業家の生涯：新 潮 48(4) p10~18
 石橋湛山 池田成彬氏の「財界回顧」を読む[書評]：東洋経済新報 2403 p48~51

- 泉山三六 巨星池田成彬老隕つ：産業と産業人 3(11) p34～37
 泉山三六 人間・池田成彬：実業之日本 53(17) p52～55
 田地与四松 池田成彬さんを憶う：ダイヤモンド 38(30) p42～43
 小泉信三 父の友[池田成彬]一下一：新文明 2(8) ['52.8] p50～53
 三段崎俊吾 池田成彬氏を想う：東洋経済新報 2450 p65
 末弘春樹 池田成彬——銀行家列伝：バンキング 59 p190～200
 土屋喬雄 池田成彬：日本評論 25(12) p26～33
 日笠有二 早川千吉郎と池田成彬— 1, 2—：東洋経済新報 2454 p131～132, 2455 p69～70
 藤原銀次郎 池田成彬翁を憶う：経済往来 2(11) p8～9
 星野靖之助 晩年の池田成彬氏：経済知識 30 p44～54
 万代順四郎 池田さんの思い出：実業之日本 53(21) p26～30
 三宅晴輝 池田成彬の哲学：東洋経済新報 2472 p10

〈昭和30年～39年〉

- 小汀利得 信頼され尊敬された池田成彬を思う：実業之世界 52(11)
 加藤俊彦 三井銀行と池田成彬：社会科学研究(東大) 12(4)
 河野重吉 池田成彬伝— 1～3, 完一：ダイヤモンド 43(10, 16, 24, 30)
 菅原通済 藤原銀次郎と池田成彬：事務と経営 8(77)
 梶井義雄 池田成彬伝— 1～5—：産業と経済 9(4～6, 8, 10)
 森沢昌輝 池田成彬の波瀾の生涯：人物往来 4(12)

一万田尚登

〈昭和23年～29年〉

- 有竹修二 政治的あくまで政治的・一万田尚登——銀行家素描— 6—：財政経済弘報 269 p11
 金本忠一 新版・一万田法皇庁の抜け穴：ダイヤモンド別刊 1(1) ['52.7] p133～137
 木村次郎 一万田法王論：政界往来 18(1) ['52.1] p90～94
 坂野善郎 日銀総裁一万田尚登論：国民経済 3(10) ['48.10] p26～34
 佐原経夫 一万田日銀総裁どこへ行く？：同盟時報 143 p26～29
 鈴木富起人 財界親分子分——一万田尚登をとりまく人々：実業之日本 56(29) p83～85
 田村定治 一万田法皇はどこへ行く——総裁の肚のうち：経済往来 4(8) ['52.9] p165～169
 三鬼陽之助他 一万田尚登を裸にする：実業之世界 49(9) ['52.9] p60～71
 三宅晴輝 一万田尚登論：文芸春秋 32(14) p144～152
 吉田善二郎他 法王一万田の虚像実像：人物往来 2(12) p8～40
 一万田尚登——時代を担う人々(P・I・N)：文化と緑化 2(7) ['52.7] p54～56
 一万田尚登論・新経済 10(8) p12～13
 一万田日銀総裁論(聡雨荘主人)：財政と生活 1(1) p38～39
 一万田日銀総裁はどんな手を打つか：産業と経済 8(10) p7～23
 今様豊太閣の一万田尚登：経済時代 18(3) p80～81

〈昭和30年～39年〉

- 浅野 薫 一万田蔵相と新木日銀総裁：金融界 7(2)
 一万田蔵相合評：実業之世界 12(10)
 暴落した「一万田株」(特集)：エコノミスト 33(27)

小林 中

〈昭和23年～29年〉

- 有竹修二 天成の仕事師——銀行家点描—2—開発銀行小林中：財政経済弘報 265 p10～11
 鈴木富起人 小林中をとりまく人々：実業之日本 56(30) p72～74
 三鬼陽之助 開銀総裁小林中の横顔：東洋経済新報(別冊) 14[’53. 6] p91～93

シャハト, H.

〈昭和23年～29年〉

- 永川秀男 シャハト自伝：世界経済 9(10) p45～50
 ヒギンス, マーガレット 老シャハトのドイツを救う道——「N. Y. ヘラルド・トリビューン」誌より：
 世界週報 30(42) p21～23
 吉村 侃 Dr. Hjalmar Schacht: エコノミスト 29(23) p22

ドッジ, J. M.

〈昭和23年～29年〉

- 浅川 博 ドッジ氏を裸にする——架空鼎談：金融界 3(12) p64～67
 奥村竹之助 ドッジ氏の印象：東洋経済新報 2458 p62
 永田雅一 親友ドッジさん：文芸春秋 30(5)[’52. 4] p244～247
 原 祐三 興味あるドッジ政策の理論的背景——ドッジ氏とはどんな考へ方を持つてゐる人かの考察：
 経済新誌 5(1) p6～9

永田 清

〈昭和30年～39年〉

- 嘉治隆一 玉山崩る——永田清氏の急逝を悼む：心 11(1)
 東畑精一 永田清氏への追想：金融経済 52
 中山伊知郎 学者としての永田清君：金融経済 52

インフレーション

〈昭和23年～29年〉

- 勝田貞次 米国の援助が絶対条件——インフレ収束と通貨処理の問題：東洋経済新報 2348[’48. 11]
 p21～22
 木村禮八郎 座談会「インフレ収束と通貨処理」の疑問に答へて：世界週報 29(41)[’48. 10] p19～20
 紅林茂夫 予想される年度末通貨とインフレの動向：実業之日本 54(5) p24～26
 桑原喜代蔵 インフレ問題と信用政策の在り方：外国為替 46[’52. 4] p16～21
 佐藤喜一郎 通貨安定策が第一：ファイナンス・ダイジェスト 2(11)[’48. 11] p20～21
 佐藤喜一郎他 インフレ傾向の分析と産業金融の問題点(座談会)：経団連月報 1(10) p476～484

- 佐藤良輔 インフレ進展下の通貨金融情勢の実相：エコノミスト 26(30)〔'48. 11〕 p6～9
- 新庄 博 経済の真実の安定が根本——インフレ収束と通貨処理の問題：東洋経済新報 2348〔'48. 11〕 p25～27
- 鈴木武雄 逆立ちしたインフレ安定論——インフレ収束と通貨処理の問題：東洋経済新報 2349〔'48. 11〕 p15～7
- 鈴木武雄、都留重人、永田 清、大内兵衛、村田為五郎 インフレ処理と通貨処理(座談会)：世界週報 29(41)〔'48. 10〕 p8～18
- 鈴木茂三郎 円の悲劇を解決するもの：政治 2(4)〔'49. 4〕 p8～13
- 高田良蔵 高額紙幣の発行とインフレ：大阪経済評論 36(10) p10～11
- 高橋正雄 インフレと通貨の最終処理に就いて：経済展望 20(8)〔'48. 11〕 p6～7
- 竹沢正武 通貨増発の要因とインフレーション：金融 57 p16～21
- 竹中久七 インフレーション下の金融と財政——昭和22年度金融財政事情を中心として：金融経済年報 4(1)〔'48. 8〕 p60～66
- 武村忠雄 呼称単位の切下は明年度秋頃か——インフレ収束と通貨処理の問題：東洋経済新報 2348〔'48. 11〕 p23～25
- トビン、ジェームス 課税・貯蓄およびインフレーション：金融情報 4(3・4) p81～90
- 野沢俊夫 輸出インフレを繞つて：金融情報 4(2) p61～76
- 吉野俊彦 過剰投資の絶滅——インフレ収束と通貨処理の問題：東洋経済新報 2348〔'48. 11〕 p27～28
- 吉野俊彦、木内信胤、永田 清、吉田 寛 インフレーションの収束と平価切下(座談会)：政経批判 2(11・12)〔'48. 11〕 p4～14
- インフレーション下に於ける金利政策の問題点(日本銀行調査局)：日本銀行調査時報 6〔'48. 8〕 p1～35
- インフレーションと安定通貨の問題(千代田銀行調査部編)：千代田銀行調査月報 1〔'48. 10〕 p19～22
- インフレーションと通貨の交換性回復に関するICCの努力(ICC日本国内委員会事務局)：経済連合 54〔'52. 6〕 p195～196
- インフレ収束策・平価切下を敢行するか——単一為替と日本経済：日本経済情報 8(3)〔'49. 3〕 p14
- インフレ収束方策と所謂通貨措置について：東洋経済新報 2342〔'48. 9〕 p20～21
- インフレ要因を金融でどう抑えるか：東洋経済新報 2594 p1109～1115
- 各国インフレーションの実情と通貨安定対策：財政経済 2(10)〔'48. 10〕 p16～103
- 各国の通貨整理とインフレ動向：東洋経済新報 2341〔'48. 9〕 p25～31
- 下期の金融はインフレ傾向：ダイヤモンド 41(20) p1767
- 通貨と金融とインフレ：証券月報 38 p1～3
- 6倍に増加した世界の通貨(大蔵省理財局)：大蔵省調査月報 37(3)〔'48. 3〕 p253～254
- わが国のインフレーションの本質と貨幣経済の諸問題：財政経済 2(12)〔'48. 12〕 p82～90
- 〈昭和30年～39年〉
- 井汲卓一 管理通貨体制とインフレーション：貿易研究 7
- 石原義盛 イギリスのインフレ史に学ぶ——インフレと投資：レファレンス 11(3)
- 磯村隆文 通貨諸制度と価格標準——インフレーション規定のために：経済学雑誌(大阪市大) 44(4)
- 磯村隆文 物価水準の変動と通貨量伸縮——インフレーション分析の試論：経済学雑誌(大阪市大) 46(4)
- 磯村隆文 物価水準の変動と管理通貨制度——米国におけるインフレーションの検証—1, 2—：経済学雑誌(大阪市大) 47(4, 5)
- 稲生 晴 信用制度下におけるインフレーション論の一問題：松山商大論集 13(2)
- 岩熊三郎 紙幣流通とインフレーション：鹿児島大学社会科学報告 8
- ウォロジン、H. インフレーションと価格機構(海老沢訳)：調査月報(大蔵省) 49(1)
- 海老沢道進 二つのインフレ、国際収支危機と平価切り下げ：外国為替 171
- 大野喜久之輔 戦後インフレーションとその統御理論——英国の場合：神戸大学経済学研究年報 6
- 小野朝男 管理通貨制度のもとでのインフレーション：経済評論 8(5)
- 小野朝男 管理通貨制度とインフレーション——1959年経済学の回顧と展望：経済評論 9(1)
- 小野朝男 為替インフレーションについて：バンキング 126
- 梶山武雄 貨幣数量説とデフレーション：修道短期大学論集 3(1)
- 鎌倉 昇 「這いよるデフレ」の危険——アメリカ経済のはらむ問題：経済評論 9(7)

- 川合一郎 現在のデフレーションの特質：産業月報 30・31
 川崎博太郎 デフレ様相の新展開：エコノミスト 35(48)
 木村孫八郎 金融硬兆とインフレの可能性：調査時報(伊藤忠) 81
 隈部大蔵 金融恐慌か・インフレか—1～3—：財経詳報 50～52
 紅林茂夫 構造的インフレーションの基本問題と金融政策の重要性：財経詳報 140
 紅林茂夫 デフレーション政策のゾレンとザイン：バンキング 127
 酒井一夫 インフレ・デフレの非対称性：金融経済 61
 酒井一夫 インフレーションと現代銀行券：経済評論 11(13)
 酒井安隆 景気循環と財政・金融政策——戦後日本のインフレ・デフレに関する一考察：経済評論 8(2)
 島 恭彦 インフレーションの財政金融的条件：経済論叢(京大) 93(1)
 真藤素一 不換銀行券とインフレーション：金融経済 49
 真藤素一 金輸出禁止下の物価——1・統一：経営と経済 37(2)
 須田 暁 「火災保険とインフレーション」についての問題点とその展望——「保険とインフレーションに関する研究」の一部として：損害保険研究 24(3)
 田村申一 インフレーションの貨幣流通の側面——ペイッシュのモデルを中心として：東海大学論叢商経研究 11
 寺園徳一郎 為替インフレーションについて：福岡大学経済学論叢 3(4)
 並木信義 デフレ政策と下村理論：経済往来 7(3)
 バーチャート, F. A. コスト・インフレーション——イギリスの金融制度：金融経済 49
 バーチャート, F. A. コスト・インフレーション——イギリスの貨幣信用制度に関するシンポジウム—1—：調査月報(大蔵省) 47(2)
 ハーレイ, D. T. インフレーションの時代：バンキング 91
 花井益一 インフレ・デフレと価格標準の変更——岡崎保氏の見解をめぐって：バンキング 125
 藤沢正也 インフレーションのマネタリイファクタア——ハロッドのインフレ対策論をめぐって：商学討究 10(3)
 麓 健一 価格変動の諸構造について——インフレーションの概念規定に関連して：バンキング 122
 三上正之 インフレーション分析の諸方法——金解禁とその再禁止をめぐって：金融経済 46
 宮田喜代蔵 インフレーションと通貨改革：国民経済雑誌 93(1)
 宮田喜代蔵 通貨改革の経済原理——抑圧のインフレーションの処理：国民経済雑誌 100(5)
 森 七郎 インフレ・デフレの基礎構造—4—：金融経済 39
 森垣 淑 銀行券について——インフレーション論との関連において：拓殖大学論集 15
 山崎研治 投資・貯蓄とインフレーション・ギャップ：中部経済学界 1
 インフレ防衛戦線異常あり：実業界 114
 構造的インフレーションの基本問題と金融政策の重要性：調査時報(富士銀行) 117
 国際的デフレ論の背景と性格：第一銀行調査月報 15(3)

貨幣・通貨 (国際通貨を除く)

〈昭和23年～29年〉

- 荒木勇美 日本銀行券の動き：大阪経済評論 34(2) p16～17
 飯田清三 単一為替レート決定と通貨問題：証券タイムス 4(6) ['49. 6] p8～9
 五十嵐虎雄 年末通貨情勢を語る：ダイヤモンド 36(36) ['48. 12] p20～23
 石野信一 通貨価値の擁護と国民の運命：明 窓 4(11) p4～8
 石山賢吉 新円獲得競争の敗者：ダイヤモンド 36(38) ['48. 12] p7
 伊藤史朗 消費者の貨幣需要：経済論叢 65(2・3) p48～89
 井上 薫 艦船建造費平価説：経済展望 21(7) ['49. 7] p15
 ウォーバ, ラーク 稀少通貨を繞る問題(野沢俊夫訳)：金融情報 3(4) p28～45
 大浦 威 貨幣の擬制性と資金計画の限界：金融界 .2(10) p12～15
 岡橋 保 貨幣は金でなければならぬか：バンキング 67 p4～19
 川口嘉一 指定通貨の拡大について：財政経済弘報 451 p9～11
 熊本吉郎 価値安定計算について：経済ゼミナール 7 ['48. 10] p15～18

- 阪口伸六郎 貨幣の分析についての一考察：商業討究 4(3) p339～370
- 佐久間長次郎 現金と購買力：信用金庫 7(6) p606～608
- 島田次郎 戦後資本主義世界における貨幣危機の発展：学生評論 4 p46～59
- 杉浦治七 1844年の銀行特許条例の基礎理論について：愛知大学法経論集 11 p123～148
- 関口啓太郎 果してデフレは来るか：実業之日本 52(4)〔'49.2〕 p4～6
- 傍島省三 貨幣をどこへやる？：バンキング 51〔'52.6〕 p2～10
- 高木暢哉 信用貨幣の展開：バンキング 51〔'52.6〕 p21～28
- 高木暢哉 単なる貨幣の遊離と拘束について：バンキング 70 p46～54
- 丹後愛二郎 貨幣の打歩決定要因：経商論纂 48 p1541～1567
- 土屋 清 外貨・為替・通貨：大 学 6〔'48.9〕 p28～33
- 寺尾威夫 収縮させた通貨に対応面のバランスが必要：日日経済 2(8) p35
- 中川佐一 通貨に関する諸問題：信用金庫 6(4)〔'52.4〕 p146～151
- 中村佐一 折実単位について——一つの物価指数本位の体験：早稲田政治経済学雑誌 122・123 p1～24
- 中村信夫 お札の話：ファイナンス・ダイジェスト 2(9)〔'48.9〕 p48～51
- 中村信夫 お札と信用：明 窓 2(8) p84～87
- 萩原厚生 銀行券の紙幣化：世界文化 4(2)〔'49.2〕 p29～33
- 堀家文吉郎 貨幣の等質性と資金計画の限界：金融界 2(9) p4～9
- 峯 翁助 日銀券罷り通る：実業之世界 50(5) p95～97
- 矢尾次郎 貨幣のヴェール性：国民経済雑誌 87(6) p17～34
- 吉田信邦 通貨の現状とその問題点：明 窓 4(11) p9～16
- 吉野俊彦 最近に於ける日本銀行券の動向：商工会議所 2(10) p10～12
- 吉野俊彦 歳末通貨の見透しに関連して：ダイヤモンド 37(33) p20～22
- 吉野俊彦 戦後における通貨の動向：ダイヤモンド 38(27) p22～23
- Doblin, Ernest M. 国民所得と通貨供給高の比率の国際比較—1—：大蔵省調査月報 41(1)〔'52.1〕 p92～105
- 外貨報奨制の意義：実業展望 21(8) p6
- 金詰り デフレの研究：ダイヤモンド 37(16)〔'49.6〕 p6～15
- 金の移動と通貨準備：外国為替管理委員会月報 8 p112～119
- 金融経済の基底としての「現金」：〔大和銀行〕経済調査 50〔'52.3〕 p5～11
- 国際的貨幣均衡の諸条件：外国為替管理委員会月報 7 p101～117
- 国民経済予算と通貨情勢の判定：大蔵省調査月報 43(7) p102～114
- 最近の通貨情勢：日本銀行調査月報 〔'53.2〕 p1～35
- 最近の通貨問題：富士銀行調査時報 69 p38～40
- 散超対策も効果薄か：ダイヤモンド 42(42) p3408～3409
- 「商品に裏づけられた通貨」の構想：海外経済事情 161 p361～362
- 千円札発行の意味：ダイヤモンド 37(28) p14～15
- 潜在する通貨不安——デフレ政策への不信：財界観測 9(4) p302～305
- 通貨問題は再燃するか：大阪経済評論 34(2) p5～6
- 通貨聯合：富士銀行調査時報 19 p75～80

〈昭和30年～39年〉

- 安部一成 経済変動過程に於ける貨幣の地位：バンキング 103
- 安部一成 経済変動に於ける貨幣の役割——ハーバラーの報告との関連に於ける問題提起—1—：山口経済学雑誌 9(5)
- 天利長三 証券と通貨：経済と経済学 10・11
- 一木 弘 金の「価格」と為替の「価格」——小野朝男氏、岡橋保氏批判：アナリスト 4(2)
- 伊藤 岩 単純な商品流通と国家紙幣：法経論集（新潟大） 9(2)
- 岩井 茂 貨幣への省察：神戸外大論叢 9(4)
- 岩田 弘 世界市場と資本主義——花井益一教授の鈴木鴻一郎教授批判によせて：経済評論 9(13)
- 江見康一 資本形成と貯蓄形成：経済研究（一橋大） 10(3)
- 岡崎 保 国立銀行紙幣について——日本銀行券の系譜：経済学研究（九大） 26(5・6)

- 岡崎 保 現代資本主義と通貨問題：経済評論 10 (2)
 萱場英造 オリンピック東京大会記念千円貨幣：時の法令 504
 木屋隆安 “新聖徳太子”密航事件：世界週報 38 (41)
 清宮 竜 ドル切替の波紋を見る——現地報告（那覇）：世界週報 39 (39)
 沓水 勇 ペイメント・マトリックス貨幣の問題：経済志林 25 (4)
 鍛田邦夫 貨幣経済の一側面——乗数分析と速度分析の総合をめぐって：経済研究（大阪府大） 4
 小泉 明 経済成長の貨幣的条件：エコノミスト 37 (38)
 小泉信三 漱石の「金」について：文芸春秋 34 (1)
 桜井一郎 所得決定と貨幣経済の基礎理論—1, 2—：明大商学論叢 44 (1, 4)
 佐藤良輔 デフレ政策下における通貨の動向と不渡手形：バンキング 85
 新庄 博 ストックとフロー：国民経済雑誌 100 (5)
 傍島省三 貨幣の諸機能について：バンキング 106
 津谷彰一 経済循環と通貨：経済情勢 313
 道前忠雄 通貨偽造と模造に関する若干の考察：判例時報 70
 中沢慶之助 “Representative Money”考：西南学院大学商学論集 8 (3)
 中田操六 第二次世界大戦後における通貨危機（抄訳）：八幡大学論集 6 (2)
 中村佐一 経済組織の発展と貨幣の職能：早稲田政治経済学雑誌 146・147
 名東孝二 現金保蔵と投機的な証券投資の独立——Mercantilism 以来の貨幣の積極機能の復活：
 政経論叢（広島大） 5 (2)
 名東孝二 国民貸借対照表の一考察：政経論叢（広島大） 8 (4)
 フレール, M. 健全通貨と中央銀行：経済人 14 (7)
 源 秀夫 貨幣経済の正視：バンキング 108
 三宅武雄 マネー・フロー表からする通貨分析：経済学論纂 2 (2)
 三宅武雄 貨幣統計からみた経済分析——戦後日本経済との関連で：経商論纂 79
 宮地亨吉 通貨偽造に関する国際会議について：警察学論集 15 (7)
 矢尾次郎 貨幣経済の把握方法：国民経済雑誌 98 (3)
 矢尾次郎 マネー・イリュージョン——貨幣作用の根拠分析の一節：国民経済雑誌 100 (5)
 山下宇一 貨幣のデザイン：時の法令 251
 山部徳雄 貨幣と価格：バンキング 84
 吉沢文男 若干の貨幣考：駒沢大学研究紀要 17
 渡辺佐平 ボイド「ピット閣下への書簡」：バンキング 119
 景気上昇過程における通貨情勢：調査月報（日銀） 57 (1)
 経済学部所蔵古貨幣コレクションに関する座談会記録：経済学論集（東大） 23 (2)
 経済成長と通貨——景気変動と物価との関連において：調査（三菱銀行） 109
 現金通貨の変動分析：調査月報（日本銀行） 14 (11)
 最近における銀行券の動向：調査月報（日銀） 10 (9)
 最近における通貨情勢：調査月報（東海銀行） 123
 最近の主要通貨動向：東京銀行月報 16 (6)
 最近の通貨情勢：協和銀行調査月報 23
 最近の通貨情勢について：経済月報（住友銀行） 93
 最近の通貨諸問題について：経済月報（三和銀行） 327
 最近の日銀券の動向：経済月報（住友銀行） 78
 最近の日銀券の動向について：経済月報（住友銀行） 63 (10)
 通貨と物価の関係について——メカニズムと現状判断：調査月報（日本銀行） 14 (10)

(海 外)

- 〈昭和23年～29年〉
 明石景明他 外国の貨幣的構図（座談会）：世界経済 5 (7) p23～38
 井関 清 外国通貨調整に関する覚書：通商月報 2 (2) [50.2] p7～18
 伊部政一 ソ連的貨幣経済の検討：季刊理論経済学 4 (1) p38～43
 川口嘉一 カナダ・ドルの売買相場について：外国為替 99 p7～10